

トップインタビュー

# コンピュータシステム研究所

「より住宅を簡単に魅力的に見せること」にこだわったプレゼンシステム「ALTA」を開発・販売する、コンピュータシステム研究所（宮城県仙台市）。プレゼンテーションに特化したソフトウェアとして、リフォーム提案に多く活用されている。同社の長尾良幸社長に取材した。

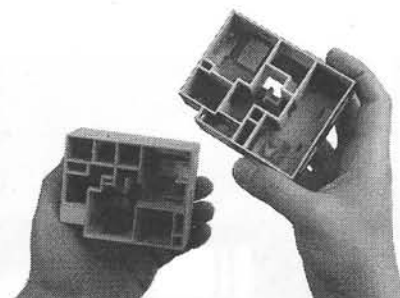
## 「我々は単細胞」「見せる」一点に特化

「土木工用のCADが主力の御社で、住宅のプレゼンのソフトを手掛けるようになったのは、いつからなのでしょう。」

「12、3年前になります。テクノビジョンという住宅用のCADを作っていた会社を買収してからですね。3年前に他界

# CADではないプレゼンツールALTAにこだわり

## 「図面はつまらない。立体や絵で見せたいという思いを貫徹」



データから3Dプリンターで作った模型

したテクノビジョンの杉山さんとは30年前から懇意にさせていた。彼が作ったCADを私が売るといって、住宅用のプレゼンシステムに

「見せる」という点には、当時からこだわりがあったのでしょうか。」

杉山さんと当時から「図面は見てもつまらないね」、「絵で見せたいね」、「立体で見せたいね」とよく話してました。図面というのはプロ同士の情報伝達手段ですから、それを見ても一般の人がわくわくできないのは当然なんです。私たちは非常に単細胞なんです。「見て分かってもらえればそれでいい」という一点に、ずっとこだわってきました。

## 最新の高度なプレゼンを簡単に誰でも使えるように

力できるようにしました。高価な3Dプリンターを4台買いましたね。模型というのは見れば住宅の全容がすぐに分かります。取り組みを始めた当時は先進的すぎて、今ようやく評価されています。



原寸大の間取り空間をヴァーチャル体験できるシステム

「3Dプリンターに対する認知度は、このところニュースなどで取り上げられることも増え、一気に高まりましたからね。」

もう一つこだわりがあります。住まいを魅力的に見せることが難しくは駄目なんです。どんなに魅力的な出力が得られるとしても、それを簡単に作る

ことができれば一部の技術のある人しか利用できません。住宅の営業の現場の人が間取り図を簡単に書けば、それがそのまま立体化して住宅として見せられる、そんなふうにしなればという思いがあります。

「デジタルペンで間取り図を書く」とソフトが自動で立体化などをしてくれる機能ですね。

デジタルペンで専用の用紙に間取り図を書

くと、大部分を自動でソフトが作ってくれます。パースがすぐに立ち上がり、立ちはだかれますよ。このデジタル

ペンの技術は元々スウェーデンのスパイが使っていた技術です。ペン1本が30万円するので、安いとは言えないのですが、今のウチのソフトを買ってくれる方の8割にデジタルペンを使ってもらっています。

「間取り図さえ書けばいいんです。図面を作ることを目的にしたCADとは異なる、というのはいくつかある点ですね。」

プレゼンのためのツールですから。CADと言ってしまうと、どうしても図面を作ることが目的になってしまいます。ただ、プレゼンからスタートしてもALTAでは自動で図面まで作ってくれるので、図面が作れないということはありません。

普通は図面をまず作ってからパースや立面図を別に作ってデジタルで見せるという流れだと思ふのですが、ALTAでは間取り図をお客さんからのヒアリングやプランニングの際に書いてもらって、それがすぐにビ

「リフォーム後の空間体験原寸大のプレゼンも開発」  
「そうした見せる技術としての新しい取り組みはあるのですか。」  
「今、取り組んでいるのが3Dで原寸大のプレゼンです。ALTAで作ったデータを3Dプロジェクターで投影して、立体に見てもらうためのメガネを掛けてもらうと、原寸大のリフォーム後の空間が体験できるシステムです。ヴァーチャルリアリティの世界ですね。」

「先ほど体験させてもらいましたが、臨場感がすごいですね。上を向くと天井が見えるし、2階から階段のぞき込むと本場にその場にいるような高さを感

「立体視用のメガネにセンサーがあり、その人の視点をしっかりと再現できます。もちろん、原寸大の住まい空間を体感してもらいながら、キッチンをその場で入れ替えたり、壁紙の色を変えたりもできます。」

もちろん、元となるデータはALTAで簡単に作れますから、そんな新しい体験も、手を掛けるに難しい操作なしで提供できます。「見せるを簡単に」という

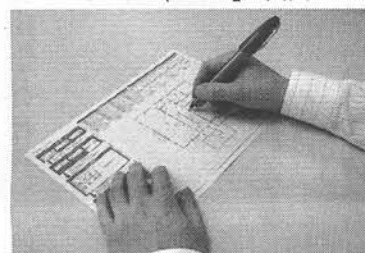


## 長尾 良幸 社長

「3Dプリンターによる模型の出力サービスも、そうした「見せる」というこだわりからですね。」  
「7年前からアメリカの3Dプリンターの会社と提携して、弊社のソフトで作ったデータを立体の模型として出



プレゼンシステム「ALTA」の画面



手書きの間取り図からすぐにパースにデジタル化され見せられる。図面はその間取り図を元に自動で書いてくれる。これがプレゼンツール

### ■会社概要

設立 昭和61年6月3日  
資本金 2億2,625万円  
決算 5月  
売上 55億円(2014年5月期)  
社員数 316名